



みんなで子育て

西濃県務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職 酒井
電話:0584-73-1111 <内線212>
E-mail : sakai-toshinori@pref.gifu.lg.jp

家庭教育についての
相談はこちらまで。
お待ちしております。



家庭教育応援通信
バックナンバー

西濃地区家庭教育学級リーダー等研修会 会場開催

大垣市 4/20 (月)

大垣市と海津市は、市の家庭教育担当委員会を行いました。両市からは家庭教育学級開催にあたっての補助金の事務手続きについて担当者から説明がありました。会の後半がリーダー等研修会でした。



大垣市は、毎年研修会を行い、参加者の学びの場を作っています。今年度は、NPOひまわりの花理事長の中野たみ子様から、「子どもの発達と家庭教育」についてお話がありました。

〈交流会の内容〉

- ・ 子どもと一緒に体験することで成長を実感できた。
- ・ 人気の給食試食会は継続したい。
- ・ 「家庭ではできない体験」を重視して講座を企画する。
- ・ 魅力向上のため意見交換やアンケートを活用したい。
- ・ 授業参観と合わせて講演会を実施する。
- ・ 講座形式から気軽な座談会への見直しも検討する。
- ・ 役員・広報なしでも持続可能な運営方法を模索している。
- ・ 匿名グループチャットで活動を発信している。
- ・ デジタル連絡帳の活用で提出率向上を目指していく。
- ・ 年3回の交流サロンで保護者同士のつながりづくりをする。



両市とも、家庭教育開催に向け、前向きに熱心にお話していただきました。

海津市 5/11 (月)

〈交流会の内容〉

- ・ 保育参観などで保護者が自由に話ができる場所を作ることによって、つながりが深まった。
- ・ 保護者の負担を減らすために、園が家庭教育学級を企画している。
- ・ 給食試食会で栄養教諭の講話を入れたり、レシピを作成して自宅で作ったりするなど、発展させたい。
- ・ 定員がある家庭教育学級は、先着〇名で申し込み順になるよう、アンケートツールを設定している。
- ・ ハグ週間、ハンドマッサージなど、親子がふれあう機会を増やしていきたい。



【服部教育長さんのメッセージ】

家庭教育学級は、子どもの成長に合わせた関わり方を学び、保護者どうしがつながりながら支え合う大切な場です。ぜひ、楽しく学び合いながら交流を深めていただきたいと思います。

また、「ママのスマホになりたい」という絵本にもあるように、スマホに気を取られすぎてしまうことで、知らず知らずのうちに子どもとの大切な時間が減ってしまうことがあります。(スマホネグレクト) 子どもは保護者に気持ちを受け止めてもらう中で安心して成長していきます。

〈アタッチメント〉

日々の中で、子どもの小さな頑張りに気づき、褒めたり、必要なときにはしっかり向き合って伝えたりすることが、愛情と信頼関係、そして自立につながっていきます。ぜひ、子どもにしっかり目を向け、心を通わせる関わりを大切にいただければと思います。

花からすなよ

ママのスマホになりたい

ママがスマホばかりみてゐると、ぼくはスマホに気がない。でもね、ホントのことより... ぼくのままでママにあげたい。

ママがスマホばかりみてゐると、ぼくはスマホに気がない。でもね、ホントのことより... ぼくのままでママにあげたい。

ママがスマホばかりみてゐると、ぼくはスマホに気がない。でもね、ホントのことより... ぼくのままでママにあげたい。

サテライト会場研修

5/14 (木)

西濃4郡のリーダー研修会は、各サテライト会場に集まり、交流しました。

大垣市・海津市のリーダー研は、前述のように、家庭教育学級担当者の会と合同でおこないました。養老郡（養老町）、不破郡（垂井町・関ヶ原町）安八郡（神戸町・輪之内町・安八町）揖斐郡（揖斐川町・大野町・池田町）は、それぞれの郡の中間に位置する垂井町、安八町、揖斐川町をサテライト会場とし、西濃県事務所とオンラインで結びました。そして、午前は幼保、午後は小中で、園・学校の担当者と保護者が集まり、熱心に年間計画を交流しました。

右回りに
揖斐川町サテライト会場
安八町サテライト会場
垂井町サテライト会場



| 大垣市 海津市 | 市担当者会と 合同開催 | 1 「みんなで家庭教育」のプレゼン動画は いかがでしたか。 | 2 少人数グループに よる交流会はいかが でしたか。 | 3 今回の配付資料は いかがでしたか。 | 4 今回、大垣市と海 津市は各市の会場で行 いました。このような 会場開催による研修は いかがでしたか。 |
|-------------------------|----------------|----------------------------------|----------------------------------|------------------------|--|
| 小中 | ア) 満足 | 61.5% | 71.2% | 61.5% | 61.5% |
| | イ) おおむね満足 | 36.5% | 28.8% | 38.5% | 38.5% |
| | 計 | 98.1% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 幼保 | ア) 満足 | 51.9% | 77.8% | 40.7% | 51.9% |
| | イ) おおむね満足 | 48.1% | 18.5% | 59.3% | 44.4% |
| | 計 | 100.0% | 96.3% | 100.0% | 96.3% |
| 養老郡・不 破郡・安八 郡・揖斐郡 | サテライト会場 開催 | 1 「みんなで家庭教育」のプレゼン動画は いかがでしたか。 | 2 少人数グループに よる交流会はいかが でしたか。 | 3 今回の配付資料は いかがでしたか。 | 4 今回、郡ごとにサ テライト会場で行いま した。このような会場 開催による研修はいか がでしたか。 |
| 小中 | ア) 満足 | 48.7% | 67.1% | 55.3% | 76.3% |
| | イ) おおむね満足 | 48.7% | 30.3% | 40.8% | 23.7% |
| | 計 | 97.4% | 97.4% | 96.1% | 100.0% |
| 幼保 | ア) 満足 | 52.7% | 71.6% | 54.1% | 68.9% |
| | イ) おおむね満足 | 47.3% | 25.7% | 43.2% | 27.0% |
| | 計 | 100.0% | 97.3% | 97.3% | 95.9% |

～ご参加いただき、ありがとうございました～

先日は、お忙しい中、家庭教育学級リーダー研修会にご参加いただき、本当にありがとうございました。

アンケートでは、

- ・ 他の園や学校の取組が参考になった
- ・ いろいろなアイデアを知ることができた
- ・ 同じ立場の方と話せて安心した

といった声が多く、皆さんにとってよい交流の時間となったことが伝わってきました。

また、「取り入れてみたい」「今後に活かしたい」という前向きなご意見をうれしく思っています。

一方で「もう少し時間がほしい」という声もあり、今後に活かしていきます。

家庭教育学級の活動は、園や学校ごとに工夫があり、それぞれの良さがあります。今回の交流で得たヒントやつながりが、これからの活動の中で役立っていくことでしょう。そして、皆さまの日々の取組が、子どもたちの笑顔や成長につながっていくことを心より願っています。

これからも、どうぞよろしくお願ひいたします。

オンデマンド研修

家庭教育学級の担当者が決まる時期は、市町によって異なります。3月末までに担当者が決まり、引継ぎや計画・立案を行っているところもあれば、4月末に担当者が決まるところもあります。そのため、「もう少し早い時期に情報がほしい」「できれば年度末や新年度が始まって間もない4月にリーダー研修を開催してほしい」という声があります。このような背景から、オンデマンド研修は、3月から5月の期間において、新たに担当となられた方へ、家庭教育学級を進めるうえで役立つ情報を届け、不安を和らげられるようにとの思いで始めました。

| | 1 「持続可能な家庭教育学級をめざして～家庭教育学級はどこが行うのか～」のプレゼン動画はいかがでしたか。 | 2 「持続可能な家庭教育学級をめざして～5つの型とお役立ち情報～」のプレゼン動画はいかがでしたか。 | 3 「持続可能な家庭教育学級をめざして～『話そう！語ろう！わが家の約束』運動～」のプレゼン動画はいかがでしたか。 | 4 今回の配布資料はいかがでしたか。 | 5 このような「オンデマンド配信」による研修はいかがでしたか。 |
|------------------|--|---|--|--------------------|---------------------------------|
| 小中 幼保 | | | | | |
| 視聴回数 (5/26現在) | 310回 | 263回 | 297回 | | |
| ア) 満足 | 43.4% | 48.1% | 48.1% | 48.1% | 66.7% |
| イ) おおむね満足 | 55.0% | 51.9% | 51.2% | 50.4% | 32.6% |
| 計 | 98.4% | 100.0% | 99.3% | 98.5% | 99.3% |

【オンデマンド研修 意見のまとめ】

- ① **オンデマンド研修の利便性 (13件)**
 - ・ 自分の都合のよい時間に受講できる
 - ・ 働いている保護者でも参加しやすい
 - ・ スキマ時間に視聴できる
 - ・ 停止・巻き戻しなどが可能
 - ・ 配信期間が長くて助かる
- ② **内容が分かりやすい・動画構成が良い (6件)**
 - ・ 丁寧で理解しやすい説明
 - ・ 家庭教育学級の5つの型などが分かりやすい
 - ・ テーマごとに区切られていて見やすい
 - ・ 適切な動画の長さ・短時間で理解できる
- ③ **家庭教育学級の理解・意義の把握 (9件)**
 - ・ 家庭教育学級の歴史や背景を知ることができた
 - ・ 担当になって初めて家庭教育学級の重要性を知った
 - ・ 意味や目的を初めて理解できた
 - ・ これまで知らずに参加していた活動の位置づけが分かった
- ④ **事例・具体例が参考になった (8件)**
 - ・ 他園・他校の実践が参考になる
 - ・ 具体的な活動例が良い
 - ・ 計画づくりの参考になった
- ⑤ **今後に活かしたい・意欲の向上 (5件)**
 - ・ 保護者に家庭教育学級の意義を伝えていきたい
 - ・ より良い学びや活動にしたい
 - ・ 保護者に寄り添ったイベントを考えたい

共働き家庭が多く、家庭教育学級を保護者が企画・開催することが難しくなっています。また、開催した場合でも、参加率をどのように上げていくのか、家庭へどのように働きかけていくのかといったことに悩んでいる方も多いと思います。

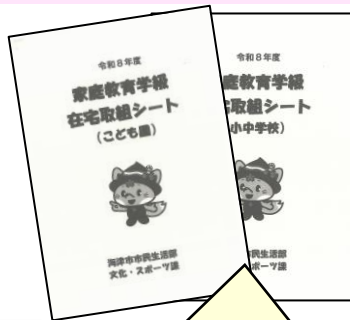
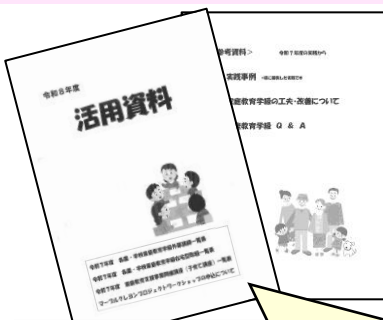
今回、家庭教育学級の歴史とその意義についての動画を視聴いただきました。現在、家庭教育学級は、保護者会やPTAが中心となってきた流れが変わってきています。家庭教育学級を持続可能なものにするには、園や学校、行政、地域の諸団体などとの連携が必須です。しかし、それぞれの市町や地域、園や学校の状況が同じところはありません。

次に紹介する園長先生のように、それぞれの状況に合わせて、無理のない形での保護者の学びやつながりの場を作っていただくことを願っています。



保護者会の在り方が変化している中で、家庭教育学級の持続可能な活動方法についての課題は、ひしひしと感じていました。保育園側から働きかけても、仕事をしながら役員をやっている方がほとんどで、なかなか積極的な活動は難しいと感じています。ただ、今回の研修を拝聴して、ちょっとした工夫で負担なく各家庭に働きかけられることを学びました。今回のオンデマンド研修と、これから受講するリーダー研修で学んだことを生かして、親子の温かい交流の一助ができればと思いました。(園長先生の感想)

大垣市・海津市からは、家庭教育学級を計画する際の参考資料が配付されました。



家庭教育学級の講師
県職員出前トーク
軽スポーツの貸出し情報



実践事例
各家庭教育学級長の振り返り
家庭教育学級Q&A外部講師一覧表
在宅取組の内容一覧表
子育て講座の内容一覧表

あったかいきずないっぱいカード、歯磨き、ノーマディア、ハグ、読み聞かせなど、在宅取組で取り組む実践カード集



関ヶ原町家庭教育学級合同開講式・子育て講演会 5/9 (土)

今回行われた子育て講演会は、保・小・中の家庭教育学級の担当者と保護者、国保保健福祉総合施設を利用している乳幼児保護者を対象に合同で開催されました。

また、令和8年度6月から2つある保育園が統合し、「せきがはらこども園」としてスタートします。関ヶ原町は、こども園1園・小学校1校・中学校1校とコンパクトになることを生かして、行政やNPO法人が行う親子講座や相談支援との連携が進むことが予想されます。「関ヶ原こどもまんなかプラザ『ココミッテ』」には、せきがはらこども園の他、関ヶ原子育て支援センター、乳幼児向け医療施設「すぎの子園」があります。

親の顔・名前 子どもの顔・名前が一致する顔の見える関ヶ原町として、0歳から18歳までの切れ目のない家庭教育支援体制がさらに充実する期待感にあふれています。

「子どもの心を守ろう～乳幼児期から学齢期まで成長に寄り添う心の居場所づくり～」
NPO法人ひまわりの花理事長
中野 たみ子 様



〈子どもの発達には決まりがある〉

- 頭尾発達（頭の方から足の方へ）、中心（体幹）から末梢（指先・口腔機能）へ
- 子どもの発達には、道筋がある。発達の道筋をとってこないと、いろいろな課題が残ってくる。

〈将来生きていく力は生活の中にあります！〉

- 挨拶をする、片付けをする、忘れ物をしないなどの力。その支援は「引き算」：減らしていくこと。
- ライフステージに応じたかかわり
→（就学の頃）声掛けでは無理。親子一緒に。
→（徐々に）気づかせる、選択させる、相談する
→（思春期）困っているときに手をかける⇔困っていないときには見守る：この2つを適度に行う。

渡邊教育長さんからは、6月からスタートする「ココミッテ」についてのお話がありました。乳幼児期の家庭教育・子育て支援の拠点となります。



- 体を使う遊びを十分にさせましょう。
→手指の使い方、協調動作、眼球運動、空間認知などが育ちます。
- 家庭のルールを作り、守りましょう。
→気持ちをコントロールすること、集団適応力ができるようになります。
- 伝え返し（聞いた言葉をそのまま返す）をして、子どもの話を聞きましょう。
→「僕の話聞いてもらえた」という満足感をもちます。
- 乳幼児期に寝る前に絵本の読み聞かせをしましょう。
→聴覚情報からイメージできる力がつきます。
- スマホはベットに持ち込ませない。
→脳の発達のためには十分な睡眠（低学年には9時間）が必要です。